

# 株式会社イハラ合成

愛知県名古屋市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

## プラスチックのリサイクル品から新たな機能性素材や付加価値製品を創製し、地球環境にやさしい社会づくりをめざす企業

- 海外輸出による市場展開を積極的に行っている。また、国際特許出願も行い、国際競争力も有している
- エンブラに特化したリサイクルを行い、再生プラスチックの特性を上げる研究開発を進めている
- リサイクルペレットによる製品開発を行い、持続的に収益につながるビジネスモデルを構築している

### 企業基本情報

所在地	愛知県名古屋市昭和区白金 3-2-26
電話/FAX	052-882-1838/052-883-3461
URL	http://www.ihara.co.jp
代表者	代表取締役 伊原 歳博
設立	1975年
資本金	1,000万円
従業員数	13人



### 会社概要

1975年に再生プラスチック回収加工販売を行う伊原商店として創業。1978年からは粉碎加工ができる設備を導入し、エンジニアリングプラスチック（耐熱性や強度に優れた工業用プラスチック）の取扱いを開始。環境保全、廃棄物からの付加価値製品製造技術への取組、女性も働きやすい職場作りを進めるとともに、再生プラスチックの高性能化などの研究開発を大学や公的研究機関等との共同研究により継続的に実施している。



会社外観

### 革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

#### 国際特許出願により、海外ビジネスへの卓越した取組

自動車部品などから再生したリサイクルペレットを韓国に約50t/月、台湾に約25t/月輸出し、積極的に市場を展開している。またタイからは粗原料を約15t/月輸入している。これらの国々でも自動車の軽量化に向けて繊維強化プラスチック（FRP）の使用量、廃棄量が増え、有効なマテリアルリサイクル技術が必要になるとの経営判断から、FRP廃材の再利用新技术を開発し、国際特許出願を行う等、アジア諸国の発展を見据えた取組を行い、国際競争力拡大に努めている。



品質の安定した原料の貿易

#### エンブラに特化した革新性リサイクル技術

ガラス繊維入りも含んだインサート品（金属等と一体化した部品）を有償で引き取り、リサイクルを行っている。早くから選別の機器を導入したことにより、インサート品の引き取りが可能となったことが強み。再生プラスチックの特性を上げる工夫もしており、再生品の品質を上げ、且つ加えるバージン材を減らすための研究開発を進めている。また、エンブラ（耐熱性や強度に優れた工業用プラスチック）に特化したリサイクルを行っている。エンブラに特化した企業は国内でも数社を数える程少ない。

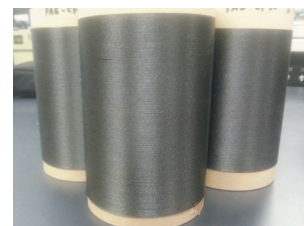


ガラス繊維強化プラスチック製  
自動車部品

リサイクルに使用している自動車部品

#### 不良品のリサイクルによるビジネスモデルの構築

今後、自動車の軽量化に伴うプラスチック成形不良品の処理は急務である。再生困難とされるガラス繊維強化樹脂不良品を再生ペレット化し、さらに配向ガラス繊維入り線材とし、その特性を活かしてバリ取り用ブラシを創製した。本例は従来市場にはない製品開発の取組で、廃棄ルートが明確なプラスチックリサイクルに特化したビジネスモデルであり優位性がある。機能面・価格面で従来品を凌駕する本ブラシの需要は大幅増加が期待でき、持続的に収益につながる新しいビジネスが構想できる。



リサイクルペレットから製造される  
再生線材の例